

令和6年度 病院事業の決算概要について

1 令和6年度決算の概要

患者数の増加や診療単価の上昇等により前年度と比較して医業収益は増加した。しかし、給与費、委託費等の医業費用が大幅に増加したことから、病院事業庁全体では前年度から赤字が大幅に拡大した。

(1) 患者数(病院事業庁全体)

	令和6年度		令和5年度		増減	
	患者数(人)	1日平均(人)	患者数(人)	1日平均(人)	人数(人)	比率(%)
入院	192,163	526.5	186,527	509.6	5,636	103.0
外来	276,504	1,137.9	270,670	1,113.9	5,834	102.2

(2) 決算の状況(病院事業庁全体)

(税抜、単位:百万円)

収益的収支	令和6年度	令和5年度	増減
病院事業収益	26,113	25,196	917
医業収益	21,567	20,096	1,471
医業外収益	4,316	4,886	△ 570
附帯事業収益	230	214	16
病院事業費用	28,013	25,976	2,037
医業費用	26,387	24,490	1,897
医業外費用	1,400	1,280	120
附帯事業費用	226	206	20
当年度純損益	△ 1,900	△ 780	△ 1,120
一般会計繰入金	4,712	4,867	△ 155

ア 医業収益は、前年度に比べて 1,471 百万円増加

入院・外来患者数の増加、単価の上昇等により診療収益は 1,526 百万円増加。

	入院単価 ()内は R5	外来単価 ()内は R5
旧総合	81,574 円 (76,653 円)	25,327 円 (25,394 円)
旧小児	94,525 円 (74,623 円)	18,188 円 (17,824 円)
精神	28,056 円 (27,999 円)	8,452 円 (8,683 円)

イ 医業外収益は、前年度に比べて 570 百万円減少

新型コロナ病床確保事業費補助金が 520 百万円減少。

(520 百万円→0 百万円 (旧総合:△348 百万円、旧小児:△160 百万円、精神:△12 百万円))

ウ 医業費用は、前年度に比べて 1,897 百万円増加

給与費の増加(+945 百万円)、高額医薬品の使用による薬品費の増加(+357 百万円)、手術件数の増加に伴う診療材料費の増加(+261 百万円)、物価高騰による委託費の増加(+110 百万円)。

(3) 各病院の状況

(税抜、単位:百万円)

	旧総合病院		旧小児保健医療センター		精神医療センター		経営管理課	
		対前年度		対前年度		対前年度		対前年度
入院患者数(人)	141,439	2,864	17,725	469	32,999	2,303		
病床稼働率(%)	72.4	1.6	48.6	1.5	73.5	5.3		
外来患者数(人)	207,670	5,389	46,898	1,904	21,936	△ 1,459		
事業収益	20,187	613	3,822	272	1,994	38	203	△ 19
医業収益	17,544	987	2,669	437	1,246	52	198	△ 18
うち入院収益	11,537	915	1,676	388	926	67		
うち外来収益	5,260	123	853	51	185	△ 18		
医業外収益	2,643	△ 374	923	△ 181	748	△ 14	2	△ 1
附帯事業収益			230	16			3	0
うち一般会計負担金	2,716	△ 108	1,160	△ 32	728	△ 10	108	△ 5
事業費用	21,787	1,483	3,883	421	2,233	139	203	△ 19
医業費用	20,612	1,406	3,492	367	2,174	129	199	△ 18
給与費	9,965	843	1,744	76	1,472	46	182	△ 20
材料費	5,706	292	866	318	101	0		
うち薬品費	3,396	28	651	330	93	△ 1		
うち診療材料費	2,298	270	207	△ 9	7	0		
経費	3,245	195	712	16	395	58	16	1
光熱水費・燃料費	494	7	71	5	63	18	1	0
修繕費	262	21	36	△ 34	25	5	0	△ 1
賃借料	153	3	190	16	17	1	2	1
委託費	1,617	79	275	11	234	20	3	△ 1
その他	719	85	140	18	56	14	10	2
減価償却費等	1,565	94	134	△ 42	183	29	0	0
研究研修費	80	△ 10	16	1	4	△ 1	1	1
医業外費用	1,175	77	164	33	59	10	2	0
うち支払利息	187	3	1	△ 1	2	1	0	0
附帯事業費用			227	21			2	△ 1
当年度純損益	△ 1,600	△ 870	△ 61	△ 149	△ 239	△ 101	0	0
当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	△ 18,205	△ 1,600	607	△ 61	△ 779	△ 239	0	0

※減価償却費には資産減耗費を含む。

※(2)の収益的収支全体の金額は、病院と経営管理課間の資金移動を重複控除しているため(3)を合計した額とは一致しない。

ア 総合病院

旧総合病院では、地域医療連携の推進や救急患者の受け入れ拡大などにより、入院、外来ともに患者数が増加した。加えて、ベースアップ評価料や看護補助体制充実加算を算定するなど、診療報酬制度にも対応して医業収益が増加した。一方で、給与費の増加、物価高騰による委託費等の増加等により、赤字額が拡大した。

旧小児保健医療センターは、入院・外来患者数が増加したほか、統合後に総合病院の施設基準が適用されたことなどにより医業収益が増加したが、給与費を含む費用が増加したことなどにより、純損益は令和2年度以来の赤字となった。

(7) 高度・専門医療の提供

- 令和6年度に完成した新放射線治療棟において、高精度な装置によるがん治療を開始し、患者の負担の少ない治療を提供した。また、令和7年度からRI内用療法を開始するための準備を行った。

新規稼働放射線治療装置による診療件数 2,947 件

- 半導体PET-CT装置による高精度ながん診療を安定的に実施した。
- 先進のゲノム医療にも積極的に取り組んでおり、検査とカウンセリングにより、患者に合った医療の提供を行った。

がん遺伝子パネル検査(R5)46 件→(R6)81 件

遺伝カウンセリング (R5)155 件→(R6)202 件

- 腫瘍内科診察室を増設し(R6.10月)、患者受け入れ体制の強化を図った。
- 救急患者や紹介患者の積極的な受け入れに取り組み、手術件数の増加を図った。
- 患者の身体的負担が少ない医療を提供するため、手術用ロボット(ダヴィンチ)による外科手術を実施したほか、TAVI(経カテーテル大動脈弁置換術)による保険診療の施設認定を受けるための準備を行った。

ダヴィンチ手術件数 (R5)156 件 → (R6)184 件

(1) 政策医療の取組

○救急医療の提供

- 高度急性期医療を提供する県立病院として、医療資源を生かして地域に期待される役割を担うため、湖南圏域の二次救急輪番に参画するなど、救急搬送の受け入れに努めた。

救急搬送人数 (R5)3,806人 → (R6) 4,446 人

○災害拠点病院の指定

- 県立病院として期待される役割を担うため、災害時に派遣するDMAT隊の体制を整備するなどの準備を行い、災害拠点病院の指定を受けた(R7.4月)。

(ウ) 地域医療連携の推進

- 新たに、琵琶湖中央リハビリテーション病院と連携協定を締結(R6.5月)し、両病院間での患者の転院協力を図るなどした。
- 地域連携登録医との連携を丁寧に行うことで診療所等との関係性を強めて、紹介・逆紹介率の向上を図るとともに、紹介患者が円滑にCT、MR検査を受けられるよう運用を改善した。
- 医師会が開催する研修会の講師に医師を派遣、あるいは医師が診療所を訪問して、当院の治療内容を含めた取組やスタッフを積極的に紹介し、紹介患者の増加を図った。

		R5	R6
紹介率	旧総合	83.8%	→ 85.8%
	旧小児	51.4%	→ 87.9%
逆紹介率	旧総合	88.5%	→ 90.4%
	旧小児	68.2%	→ 71.7%

(エ) 小児医療に係る取組

- ・難治・慢性疾患や発達障害を含めた子どものこころの問題・精神疾患への専門的な医療の提供に継続して取り組んだ。
- ・旧総合病院と旧小児保健医療センターの医師等が連携して小児患者の治療にあたるなど統合の効果を生かした専門医療の向上を図った。

イ 精神医療センター

入院患者数が増加したことなどにより医業収益は増加した。一方で、給与費の増加、物価高騰による委託費の増加等により、赤字額が拡大した。

(ア) 依存症治療等専門医療の推進

- ・アルコール・薬物、ギャンブル等の依存症に対し、依存症専門医療機関として専門診療や認知行動療法に基づく外来集団精神療法プログラム等を実施した。
 - ARP(アルコール依存症の入院治療プログラム)入院患者数 (R6) 40人
 - SMARPP(アルコール・薬物依存症の外来集団治療プログラム)参加延べ人数 (R6) 328人
 - STEP-G(ギャンブル依存症の外来集団治療プログラム)参加延べ人数 (R6) 237人
- ・依存症治療拠点機関として、研修事業や普及啓発事業を実施したほか、保健所等への助言等の技術協力を行った。

(イ) 思春期精神障害医療の推進

- ・中高生を対象に、こころの専門外来や入院による診療を行い、発達障害や摂食障害等の治療を行った。
- ・患者が地域で安定した生活を維持できるよう、学校や相談機関と連携しながら、円滑な受け入れと治療を行った。
 - こころの専門外来延べ患者数 (R6) 1,676人
 - 児童・思春期精神障害に係る延べ入院患者数 (R6) 37人
 - 思春期外来の学校・相談関係との連携割合 (R6) 66.4%

(ウ) 医師の確保

- ・医師確保に向けて、令和5年10月に精神科専門医研修施設群基幹施設の認定を受けたことも活かして、引き続き、滋賀医科大学等との連携強化や、当院の医師とつながりのある医師への働きかけ等を行った。
- ・精神科専門医研修施設の専攻医[※]として受け入れ令和6年度に研修を終えた医師2名について、令和7年度も継続して採用した。

※専攻医:2年間の初期研修を修了した後、専門医の資格取得を目指して専門研修プログラムを受講している医師

(4) 資本的収支の状況

ア 病院全体

(税込、単位:百万円)

資本的収支	令和6年度	令和5年度	増減
資本的収入	3,893	2,878	1,015
企業債	3,835	2,848	987
補助金	10	0	10
負担金	48	30	18
資本的支出	6,097	5,119	978
建設改良費	3,943	2,965	978
企業債償還金	2,154	2,154	0
当年度収支差	△ 2,204	△ 2,241	37
一般会計繰入金	33	30	3

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 2,204 百万円は、退職給付引当金に係る特定資金 2,197 百万円ならびに消費税および地方消費税資本的収支調整額 7 百万円で補填

【参考】資金残高

(税抜、単位:百万円)

	令和6年度	令和5年度	増減
資金残高	2,516	4,690	△ 2,174

イ 旧総合病院

(税込、単位：百万円)

資本的収支	令和6年度	令和5年度	増減
資本的収入	3,732	2,515	1,217
企業債	3,697	2,490	1,207
補助金	10	0	10
負担金	25	25	0
資本的支出	5,782	4,589	1,193
建設改良費	3,775	2,596	1,179
企業債償還金	2,007	1,993	14
当年度収支差	△ 2,050	△ 2,074	24

○主な建設改良事業

病院統合医療情報システム 2,172 百万円、放射線治療システム 748百万円、
新館 A 病棟他空調設備改修工事 118 百万円

ウ 旧小児保健医療センター

(税込、単位：百万円)

資本的収支	令和6年度	令和5年度	増減
資本的収入	44	41	3
企業債	22	37	△ 15
補助金	0	0	0
負担金	22	4	18
資本的支出	116	173	△ 57
建設改良費	51	46	5
企業債償還金	65	127	△ 62
当年度収支差	△ 72	△ 132	60

○主な建設改良事業

病院統合医療情報システム15百万円、超音波診断装置7百万円

エ 精神医療センター

(税込、単位：百万円)

資本的収支	令和6年度	令和5年度	増減
資本的収入	117	322	△ 205
企業債	116	321	△ 205
補助金	0	0	0
負担金	1	1	0
資本的支出	199	357	△ 158
建設改良費	117	323	△ 206
企業債償還金	82	34	48
当年度収支差	△ 82	△ 35	△ 47

○主な建設改良事業

磁気共鳴断層撮影装置 109 百万円

(5) 比較貸借対照表

ア 病院全体

(税抜、単位:百万円)

科目	令和6年度	令和5年度	増減	科目	令和6年度	令和5年度	増減
固定資産	33,320	31,440	1,880	固定負債	26,921	25,729	1,192
有形固定資産	31,972	30,296	1,676	企業債	22,110	20,998	1,112
土地	6,181	6,181	0	リース債務	0	0	0
建物	45,088	44,869	219	退職給付引当金	4,811	4,731	80
減価償却累計額	△ 28,047	△ 27,060	△ 987	流動負債	7,625	6,229	1,396
構築物	1,328	1,328	0	企業債	2,773	2,205	568
減価償却累計額	△ 999	△ 979	△ 20	リース債務	0	39	△ 39
車両運搬具	11	11	0	未払金	3,882	3,161	721
減価償却累計額	△ 9	△ 8	△ 1	前受金	2	0	2
工具器具・備品	15,525	12,983	2,542	賞与引当金	720	610	110
減価償却累計額	△ 9,269	△ 9,200	△ 69	法定福利費引当金	144	120	24
リース資産	236	236	0	預り金	104	94	10
減価償却累計額	△ 177	△ 141	△ 36	病院間貸借	0	0	0
建設仮勘定	2,104	2,076	28	繰延収益	1,946	2,060	△ 114
無形固定資産	3	3	0	長期前受金	4,931	4,904	27
投資	1,345	1,141	204	収益化累計額	△ 2,991	△ 2,844	△ 147
出資金	5	5	0	建設仮勘定長期前受金	6	0	6
長期前払消費税	1,340	1,136	204	負債合計	36,492	34,018	2,474
流動資産	7,368	8,674	△ 1,306	資本金(固有資本金)	16,415	16,415	0
現金預金	2,808	4,925	△ 2,117	剰余金	△ 12,219	△ 10,319	△ 1,900
未収金	4,421	3,650	771	資本剰余金	6,158	6,158	0
貸倒引当金	△ 31	△ 30	△ 1	受贈財産評価額	6,114	6,114	0
貯蔵品	170	129	41	寄附金	44	44	0
前払金	0	0	0	当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	△ 18,377	△ 16,477	△ 1,900
その他流動資産	0	0	0	資本合計	4,196	6,096	△ 1,900
病院間貸借	0	0	0	負債資本合計	40,688	40,114	574
資産合計	40,688	40,114	574				

イ 旧総合病院

(税抜、単位:百万円)

科目	令和6年度	令和5年度	増減	科目	令和6年度	令和5年度	増減
固定資産	26,920	24,880	2,040	固定負債	24,808	23,631	1,177
有形固定資産	25,663	23,832	1,831	企業債	21,511	20,385	1,126
土地	2,976	2,976	0	リース債務	0	0	0
建物	36,540	36,304	236	退職給付引当金	3,297	3,246	51
減価償却累計額	△ 21,522	△ 20,694	△ 828	流動負債	6,327	5,929	398
構築物	763	763	0	企業債	2,621	2,058	563
減価償却累計額	△ 544	△ 533	△ 11	リース債務	0	39	△ 39
車両運搬具	8	8	0	未払金	3,000	2,795	205
減価償却累計額	△ 6	△ 5	△ 1	前受金	2	0	2
工具器具・備品	12,986	10,465	2,521	賞与引当金	522	431	91
減価償却累計額	△ 7,416	△ 7,356	△ 60	法定福利費引当金	104	85	19
リース資産	236	236	0	預り金	78	71	7
減価償却累計額	△ 177	△ 141	△ 36	病院間貸借	0	450	△ 450
建設仮勘定	1,819	1,809	10	繰延収益	1,047	1,118	△ 71
無形固定資産	2	2	0	長期前受金	2,977	2,973	4
投資	1,255	1,046	209	収益化累計額	△ 1,936	△ 1,855	△ 81
出資金	3	3	0	建設仮勘定長期前受金	6	0	6
長期前払消費税	1,252	1,043	209	負債合計	32,182	30,678	1,504
流動資産	1,423	3,558	△ 2,135	資本金(固有資本金)	11,415	11,415	0
現金預金	△ 2,858	442	△ 3,300	剰余金	△ 15,254	△ 13,655	△ 1,599
未収金	4,169	3,032	1,137	資本剰余金	2,951	2,950	1
貸倒引当金	△ 29	△ 28	△ 1	受贈財産評価額	2,907	2,906	1
貯蔵品	141	112	29	寄附金	44	44	0
前払金	0	0	0	当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	△ 18,205	△ 16,605	△ 1,600
その他流動資産	0	0	0	資本合計	△ 3,839	△ 2,240	△ 1,599
病院間貸借	0	0	0	負債資本合計	28,343	28,438	△ 95
資産合計	28,343	28,438	△ 95				

ウ 旧小児保健医療センター

(税抜、単位:百万円)

科目	令和6年度	令和5年度	増減	科目	令和6年度	令和5年度	増減
固定資産	1,758	1,841	△ 83	固定負債	1,043	1,059	△ 16
有形固定資産	1,734	1,813	△ 79	企業債	244	281	△ 37
土地	643	643	0	リース債務	0	0	0
建物	3,454	3,471	△ 17	退職給付引当金	799	778	21
減価償却累計額	△ 2,939	△ 2,892	△ 47	流動負債	833	389	444
構築物	108	108	0	企業債	59	65	△ 6
減価償却累計額	△ 99	△ 98	△ 1	リース債務	0	0	0
車両運搬具	1	1	0	未払金	635	205	430
減価償却累計額	△ 1	△ 1	0	前受金	0	0	0
工具器具・備品	1,720	1,665	55	賞与引当金	102	88	14
減価償却累計額	△ 1,435	△ 1,348	△ 87	法定福利費引当金	22	18	4
リース資産	0	0	0	預り金	15	13	2
減価償却累計額	0	0	0	病院間貸借	0	0	0
建設仮勘定	282	264	18	繰延収益	93	74	19
無形固定資産	1	1	0	長期前受金	252	220	32
投資	23	27	△ 4	収益化累計額	△ 159	△ 146	△ 13
出資金	1	1	0	建設仮勘定長期前受金	0	0	0
長期前払消費税	22	26	△ 4	負債合計	1,969	1,522	447
流動資産	3,972	3,503	469	資本金(固有資本金)	2,510	2,510	0
現金預金	3,901	2,468	1,433	剰余金	1,251	1,312	△ 61
未収金	50	426	△ 376	資本剰余金	644	644	0
貸倒引当金	0	0	0	受贈財産評価額	644	644	0
貯蔵品	21	9	12	寄附金	0	0	0
前払金	0	0	0	当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	607	668	△ 61
その他流動資産	0	300	△ 300	資本合計	3,761	3,822	△ 61
病院間貸借	0	300	△ 300	負債資本合計	5,730	5,344	386
資産合計	5,730	5,344	386				

エ 精神医療センター

(税抜、単位:百万円)

科目	令和6年度	令和5年度	増減	科目	令和6年度	令和5年度	増減
固定資産	3,091	3,168	△ 77	固定負債	1,014	981	33
有形固定資産	3,024	3,100	△ 76	企業債	355	332	23
土地	1,011	1,011	0	リース債務	0	0	0
建物	5,094	5,094	0	退職給付引当金	659	649	10
減価償却累計額	△ 3,586	△ 3,474	△ 112	流動負債	446	342	104
構築物	457	457	0	企業債	93	82	11
減価償却累計額	△ 356	△ 348	△ 8	リース債務	0	0	0
車両運搬具	2	2	0	未払金	241	154	87
減価償却累計額	△ 2	△ 2	0	前受金	0	0	0
工具器具・備品	819	853	△ 34	賞与引当金	86	82	4
減価償却累計額	△ 418	△ 496	78	法定福利費引当金	16	15	1
リース資産	0	0	0	預り金	10	9	1
減価償却累計額	0	0	0	病院間貸借	0	0	0
建設仮勘定	3	3	0	繰延収益	806	868	△ 62
無形固定資産	0	0	0	長期前受金	1,702	1,711	△ 9
投資	67	68	△ 1	収益化累計額	△ 896	△ 843	△ 53
出資金	1	1	0	建設仮勘定長期前受金	0	0	0
長期前払消費税	66	67	△ 1	負債合計	2,266	2,191	75
流動資産	1,898	1,986	△ 88	資本金(固有資本金)	2,490	2,490	0
現金預金	1,076	1,026	50	剰余金	233	473	△ 240
未収金	216	204	12	資本剰余金	1,012	1,013	△ 1
貸倒引当金	△ 2	△ 2	0	受贈財産評価額	1,012	1,013	△ 1
貯蔵品	8	8	0	寄附金	0	0	0
前払金	0	0	0	当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	△ 779	△ 540	△ 239
その他流動資産	600	600	0	資本合計	2,723	2,963	△ 240
病院間貸借	0	150	△ 150	負債資本合計	4,989	5,154	△ 165
資産合計	4,989	5,154	△ 165				

才 経営管理課

(税抜、単位:百万円)

科目	令和6年度	令和5年度	増減	科目	令和6年度	令和5年度	増減
固定資産	1,551	1,551	0	固定負債	56	58	△ 2
有形固定資産	1,551	1,551	0	企業債	0	0	0
土地	1,551	1,551	0	リース債務	0	0	0
建物	0	0	0	退職給付引当金	56	58	△ 2
減価償却累計額	0	0	0	流動負債	635	934	△ 299
構築物	0	0	0	企業債	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0	リース債務	0	0	0
車両運搬具	0	0	0	未払金	6	7	△ 1
減価償却累計額	0	0	0	前受金	0	0	0
工具器具・備品	0	0	0	賞与引当金	10	9	1
減価償却累計額	0	0	0	法定福利費引当金	2	2	0
リース資産	0	0	0	預り金	617	916	△ 299
減価償却累計額	0	0	0	病院間貸借	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	繰延収益	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	長期前受金	0	0	0
投資	0	0	0	収益化累計額	0	0	0
出資金	0	0	0	建設仮勘定長期前受金	0	0	0
長期前払消費税	0	0	0	負債合計	691	992	△ 301
流動資産	691	992	△ 301	資本金(固有資本金)	0	0	0
現金預金	689	989	△ 300	剰余金	1,551	1,551	0
未収金	2	3	△ 1	資本剰余金	1,551	1,551	0
貸倒引当金	0	0	0	受贈財産評価額	1,551	1,551	0
貯蔵品	0	0	0	寄附金	0	0	0
前払金	0	0	0	当年度未処分利益剰余金 (△:未処理欠損金)	0	0	0
その他流動資産	0	0	0	資本合計	1,551	1,551	0
病院間貸借	0	0	0	負債資本合計	2,242	2,543	△ 301
資産合計	2,242	2,543	△ 301				